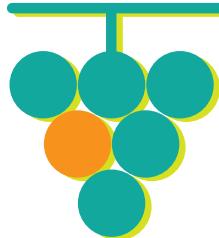


2022年1月15日発行

第632号

発行/社会福祉法人 天童会 飯野順子



# あきつ



職員と一種に、におい袋の  
「サシェ」を作る利用者



あけましておめでひいぐわざります。  
「今日は、何人?」とコロナ感染者数を確認する毎日となり、その人数に一喜一憂しました。今、新たな感染源の脅威が報道されていますが、平穀な日々の再来を「祈るばかりです。中庭のバラは、秋にも花を咲かせ、

## 再生そして復活へ

理事長 飯野順子

ご近所の方も、バラの咲く日を楽しみにしているそうです。春に桜が咲き、バラも咲いて、花の下でコンサートを開き、交流できる日こそ、復活の日です。その時に、園生さん作成のバラの花束や匂い袋を、園生さん自身が売ることが出来たりと思っています。

新しい年に新しい活動ができるようになりたい! -



## 今号の一句

希望込め  
日本国民の  
初相撲



3棟M.Oさんの一句  
「日本のお正月ですね」  
イラスト  
高松由有子さん



働く人シリーズその8。今回は「支援科」のお仕事の第一回目です。（全2回）



毎日元気を届ける支援科職員

個別支援計画とはなにか基準となつてありますか？  
①日常生活支援（日々の状態観察  
事・入浴・排泄・ボゴンヨーフング・環境  
整備・保清等）  
②運動機能の維持（姿勢・歩行・嚥下等）

支援科は、資格による大きな業務内容の違いはありません。日常の業務、活動、利用者の活動計画等を多角的な視点や意見をもつて検討する役割を担っています。

利用者一人ひとりの支援するにあたり、日常生活全ての場面において個別支援計画に基づいて支援を行います。

現在約90名が、日勤・遅番・夜勤の勤務体系で勤務しています。職種は様々で・児童指導員（教員資格・社会福祉士・心理士等）・保育士（保育士・幼稚園教諭等）・生活指導員（介護福祉士等）・療育手が居ます。

いろんな職種の人々が働いているんですね。  
それぞれの役割はなんですか？

働く人シリーズその8。今回は「支援科」のお仕事の第一回目です。（全2回）

職員数や勤務体系を教えてください。



ふむふむ。具体的にはどういふ内容になりますか？

支援科の仕事は大きく分けて4つに分かれます。

①日常生活支援（日々の状態観察  
事・入浴・排泄・ボゴンヨーフング・環境  
整備・保清等）

私たちがまず働くうえで急頭に置かなければならぬのが、利用者が自立した日常生活を営むことが出来るよう支援することです。ここで言う自立とは、自力によらずべてを自分で出来るようにになる、経済的な自立と併せて、自分の意志で決定する、尊厳をもつて生活を送ることを言っています。

これが秋津療育園の理念にあります「生命の維持と豊かな日常生活」になります。

厚生労働省によると、個別支援計画の作成に当たっては、適切な方法により、利用者について、その有する能力、その置かれている環境及び日常生活全般の状況等の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握（アセスメント）を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援する上の適切な支援内容の検討。アセスメント及び支援内容の検討結果に基づき、利用者及びその家族の生活に対する意向、総合的な支援の方針、生活全般の質を向上させるための課題、支援の目標及びその達成時期、支援を提供するまでの留意事項等を記載した個別支援計画の原案を作成します。

- (1) 日常生活支援では自分から要望を上げて伝えることのできない利用者に対して呼吸の仕方から、表情、動作、食事、排泄全てにおいて観察しながら日々の支援を行います。それと合わせて日々の細やかな業務があります。
- (2) 運動機能の維持については毎日少しでも継続することを心掛けています。自身で出来るところは見守りサポートする事、持つている機能を發揮するために姿勢やポジショニングも整えます。そうした日々の積み重ねが利用者の5年～10年先に影響する事を考え支援しています。
- (3) 日中活動については
  - ①個別活動、個々に合わせた関心の拡大、情緒の安定、機能維持等を図るために活動して、それぞれの目的によっては個別活動と捉えることもあります。
  - ②グループ活動、共通の活動を通じ共感や達成感を味わう活動（グループで活動していく中で、それぞれの目的によっては個別活動と捉えることもあります）
  - ③日中活動について
    - ①～③の活動を、一年を通じた計画的な取り組みと、園生の身体的、精神的状況、天候、季節、時間などを鑑みて、必要な時に柔軟に実施する取り組み活動とを行っています。最後にこれらをしっかりと記録に残し評価、検討、計画します。



たくさんの笑顔も運びます



①環境整備、居室やベッド周りが煩雜だと居心地も悪く事故にも繋がります。感染症の観点からもベッド下掃除などの細やかな消毒をします。

②保清・リネン交換、整髪、爪の手入れ、汚れた衣服の交換など清潔で心地よい日常を心掛けています。

③ボゴンヨーフング、就寝時の体位変換、車いすの乗車姿勢など、私たちが意識しないで行っている寝返りや座り直し

なるほど、現場の様子がよくわかりますね。他職の協力も必要ですね。

そうです。他課、他部署と連携しながら、利用者にとって豊かな日常となる支援を行うことが私たち支援職の大好きな役割になります。（次回へつづく）



## 活動紹介① 「食事」食べること

ことばパンクによると「活動」とは？ 活発に行動すること。とあります。シリーズ「活動」秋津療育園の活動を写真と共に紹介していきます。第1回は「食べる」普段と違う食べ方を活動として取り入れました。

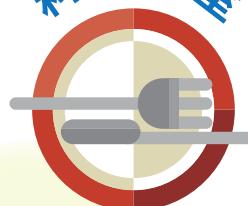


栄養管理室の職員が病棟で利用者と一緒に料理を作ることで、料理が出来上がるまでの工程を楽しみ、学ぶ活動です。

今年は感染症の観点から病棟に栄養管理室職員が入室出来ない為、例年とは違った活動になりました。

題して、「世界に一つだけの自分ケーキ」生クリームに、フルーツ、チョコレートなどスポンジケーキに自分たちでトッピング！ おいしくいただきます。

## 料理教室



2 病棟で定期的に開催しています。6月にはきれいに咲いた中庭のバラ園をバックにお店で買ってできたデザートを楽しめます。事前に何を食べたいかと一緒に考えて、太陽の下で食べるデザートは格別ですね。

数あるメニューから好きなもの選んで食べる至福の時間、毎年昼食とデザートバイキング合わせて年に2回開催されます。

3 病棟では30種類のメニュー候補から、利用者の投票によって決めました。自分の選んだメニューで喜んだり、食べて美味しかったり、バイキングの名前も投票で決めました。「バイキングだよ全員集合」。こうしてバイキング本番の何か月も前から楽しめる工夫をしました。



「いつもの食事にアクセント」をテーマに月一回開催されるララランチ。食事が始まると素敵なピアノ演奏が始まります。そこはまるでホテルのような空間です。素敵なピアノの生演奏に食事も進みます。

今回は食事をテーマに活動のご紹介をいたしました。今度はあれが食べたいな、今日のご飯は何かな？ 家じゃなくて外食したいな。私たちが普段思うこと…そんな当たり前を形に出来るように、職員一同工夫して、考えて今後も楽しい食事の場面を実践していきたいと思います

## 100日後に就職するうさぎ 第6話

作・早川里英



## イベンツ

通園センター

秋はイベントが目白押し！

通園では10月はハロウィンに向けてカボチャやの壁面装飾を作り、メモスタンンドを作り、恒例の仮装写真撮影を楽しみました。11月は文化祭月間。お天氣にも恵まれ、外気浴で秋の風景を感じることが出来ました。制作では「センサーバッグ」を作り、保冷材の中に入れたおはじきや、ジエルボールの感触や冷たい感覚を楽しむことができました。

12月のクリスマスでは利用者が選んだ装飾品を飾り付けました。クリスマスライブコンサートも行いました。サンタとオラフの劇では、利用者さんも楽しそうに観劇しました。

リハビリの時間に「巾着袋」を作りました。デザインも自分で考えて、三つの手伝いもしましたよ。すごく良く出来たと思いました。これは、担当職員さんへのプレゼントと初めから決めていました。渡すときは、嬉しく自分で泣いてしまいました。

昨年も差し上げました五月の子供の日に、お菓子代としてお役に立てていただけたら存じます。3万円をお届けいたします。この代金は、当自治会で空缶やボール箱(段ボール箱)、紙屑等、当然捨てるものをきれいにまとめて、1年間毎月1回、屑やさん(廢品回収業者さん)に売りました代金でございます。

一オした心づかいで、捨てないで共同でまとめられて、このように代金が得られ、ゴミも満足であろうというねらいで、永年つづけられている運動でございます。その運動で得たお金を、少しでも有効に使いたいと考えて貴施設の子供さんのためにお送りいたします。

どうぞ意のあるところをおくみどり下さいませ。園長様はじめ、先生方(職員のこと)さぞや大変と存じますが、子供たちのためによろしくお願いします。

(昭和42年5月1日 あきつ14号)

## きんちゃんくぶくろ 巾着袋を作りました



## 秋津アーカイブス

古い写真や文献の中から、もう一度見えておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

### 善意の結晶

三谷南自治会協力会(注1)  
芋川さく子

\*現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

\*(注1)三谷南自治会連合会=現在の杉並区今川付近

山本鐵子様、板谷エイ子様、高田勉様、(有)荒田葬儀社様、新座キリスト教会様、自白教会婦人会様、東洋英和女学院 小学部 母の会様、岡田生樹様、豊島岡女子学院生徒会様、田中彩子様、スタートリンク(株)、水津勝朗様、武藏野友の会様、慶應義塾女子高等学校 家庭科様、牧田勢津子様、高田徳子様、豊島岡女子学園様、中村典雄様、寺本國男様、土橋栄江様、飛田貴子様、和田真様、ケイ・ゴルフサービス様、三光教会様、一般社団法人東京馬主協会様、立教池袋中学校・高等学校厚生部様、御寄付をたまわりまして誠にありがとうございます。皆様方の温かい御支援と御協力に、心より厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人 天童会

## ご寄付

## 編集後記

富士山の姿がはっきり、くっきりと見られ、空の青さ、空気の透明感を感じる季節ですね。この済んだ空気の中をコロナウィルスも飛んでいるのかな?と思うと、なんだか不思議な気持ちです。さて、今号は2022年の第1紙となります。ドライブ取組の見どころや、支援科のお仕事などを掲載しました。コロナ禍で利用者や職員がどのように園生活を送っているのか、読んでいただきたいと思います。

(池田 雄)

あきつ 第632号

E-mail : jimukyoku@tendoukai.net  
HP : http://www.tendoukai.jp  
発行人 / 飯野順子  
発行 / 年4回 1・4・7・10月発行

